

整理番号	19-3	事務事業名	(生きがい福祉事業) 生きがいデイサービス事業		作成部署	保健福祉部 福祉課	電話	内線805
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	上村 弘志	課長職名	小西 洋一	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	H12	根拠法令等	北広島市生きがい対応型デイサービス事業実施要綱					
" 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	平成12年4月から介護保険制度がスタートすると同時に介護予防の面にも力点があかれ、介護保険サービスの非該当者に対する介護予防対策のひとつとして開始した。							

**1 計画(プラン)**

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	安全で安心できるまち	(第 1 章)
	節	高齢者福祉	(第 5 節)
	施策	在宅福祉サービスの拡充	(第 1 施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	介護保険法の要介護・要支援に該当しない高齢者	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	社会的孤立感の解消、自立生活の支援、介護予防を図るため、生きがいデイサービスに通ってもらう。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	平成12年度 生きがいデイサービスの専用施設として、国庫補助を受けて広葉小学校の余裕教室を改造。工事完成後の8月から週2日開設。デイサービスの内容は、教養講座や創作活動、趣味的活動、軽スポーツなどを実施。 平成13年度から 利用者の増加により開設日を週3日に拡大している。 (委託事業により実施)
		17年度	平成13年度からと同様

**2 実施(ドウ)**

**【事業費の推移】**

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金	1,208	0	0	0
	地方債				
	その他特財	7	7	8	8
	一般財源	4,404	5,641	5,666	5,666
	合計	5,619	5,648	5,674	5,674
人件費(概算)	人数(年間)	0.05	0.05	0.05	0.05
	1人当り年間平均人件費	9,235	9,000	9,000	9,000
	= ×	462	450	450	450
総事業費 +		6,081	6,098	6,124	6,124

**【事務事業を評価する指標(ものさし)】**

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	箇所数	1か所	1か所	1か所	1か所
	定員(1週あたり)	45人	45人	45人	45人
	開設日数(1週あたり)	3日	3日	3日	3日
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	延べ利用者数	1,861人	1,842人	1,851人	1,851人
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	1人1回利用当たりコスト	3,268円	3,311円	3,308円	3,308円

**3 評価(チェック)と改善(アクション)**

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等  
 高齢化が進展していくなかで、介護保険制度の安定的な運営のためにも、在宅での自立した生活を継続していくために、介護予防に資する施策はますます重要な役割を果たすことになる。他の市町村においても、ほとんどで行われているサービスである。

**【妥当性の評価と改善の方法等】**

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	高齢者が在宅で自立生活を継続していくための支援は行政が関与すべきであり、そのために介護予防を図る事業は必要である。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	北広島市高齢者保健福祉計画の策定段階で市民への調査を実施してニーズを把握し、市民や保健福祉・医療関係者が参加した「計画策定懇談会」で議論のうえ、計画に掲げている。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	委託により実施しており、他の手段は考えにくい。なお、利用待機者がいることから、その解消を検討すべきである。	会場は、現在は準備も含め平日の4日間を使用しているが、残り1日は空いているため、開設日の増について検討していく。
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	利用者は1回に昼食代500円、材料費相当額として300円を負担しており、他のデイサービスと比較しても妥当な負担となっている。	

**【有効性と効率性の評価と改善の方法】**

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	通所により外出する機会ができ、高齢者の閉じこもりを解消するという介護予防の面で成果があがっている。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト節減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率的 かなり非効率的	委託により実施しており、その委託料の大部分が人件費と送迎用車両のリース料であることから、コスト節減は難しい。	

**【事務事業担当部局内優先度】**

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A      B      C

**4 総合判定と今後の方向性**

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法等を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	高齢者の閉じこもりを解消するという介護予防対策の一分野を担っているが、利用待機者が生じており、今後その対応策を検討していく。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	1次評価のとおり